

地域密着型特老などの整備補助金を増額

平成28年度補正予算のうち、一般会計(第3号)は3億8182万円を増額し、予算総額96億8782万円とすることを全員賛成で可決しました。

おもな内容は、地域密着型特別養護老人ホームとグループホームの整備補助金に1億8502万円や、道の駅の什器備品購入なども含む開業準備費用1億800万円、小学校校庭改修工事の不足分1895万円などで、その財源は補助金や町債(借金)などでまかないます。

質疑

地方創生広報アドバイザー委託料の内容は

(渡辺勝弘議員)

地方創生費の1000万円の増額は地方創生交付金事業に係る広報アドバイザー委託料となつていますが、その内容を伺う。

企画情報課 課長 これまで特に6次化商品などのブランドディングに力を入れてきた。今度は国見そのものをPRするために、広報戦略や地域ブランド戦略の策定、ロードマップ、さらには職員も含めて情報発信やデザインについての研さんを積んでレベルアップをしていくことを、今回のアドバイザーを含めて追求していきたいと考えている。

へき地児童援助費とは

(松浦和子議員)

歳入でへき地児童援助費の増額があるが、これについて説明を願う。

教育次長

スクールバスの一部補助金である。

元気な産地づくり整備事業とは

(井砂善榮議員)

元気な産地づくり整備事業で141万6千円の計上があるが、どのような事業なのか。

産業振興課 課長

共同の組織でリーダーを更新したいという

平成28年度一般会計補正予算(第3号)の主な内容

【主な事業】

- ・地域密着型特老・グループホーム整備補助金 1億8502万円
 - ・道の駅の什器備品の購入費用 6000万円
 - ・道の駅開業準備のための補助金 4800万円
 - ・国見小学校校庭改修の工事費 1895万円
 - ・補修工事など町道の維持管理費 1149万円
 - ・地方創生推進のための広報アドバイザー委託費 1000万円
 - ・その他(観月台公園太鼓橋の補修、町営住宅修繕など) 4836万円
- 計 3億8182万円

【主な財源】

- ・町債(借金) 631万円
 - ・地方交付税 221万円
 - ・その他(繰越金・基金繰入など) 1億6954万円
 - ・国・県からの補助金など 2億376万円
- 計 3億8182万円

国見の里に導入する介護ロボットとは

(渡辺勝弘議員)

国見の里への介護ロボット導入に係る補助金として92万7千円の計上があるが、導入するロボットはどのようなものなのか。

保健福祉課 課長

自立して動いたり介護職員が

うことで、総事業費425万円の3分の1の金額が国から助成されるものである。

装着するようなものではなく、職員が行う入所者の見守りを支援するシステムである。ベッドにセンサー付きのマットを敷き、入所者の睡眠の状態や活動の様子を、居室に行かなくてもリアルタイムに事務室のパソコン上で監視ができるシステムになっており、介護職員の見守り負担を軽減するものである。今回、センサー付きマット7枚、監視用パソコン1台分の構成である。

学校給食の活用事業は新たな事業か

(浅野富男議員)

問 教育費委託金に、

社会的課題に対応する学校給食の活用事業として143万2千円の補正があるが、新たな事業として取り組むのか。

教育次長 これから新規に取り組むもので、社会的課題というのは、食品ロス、地産地消と考えている。

まちづくり交流推進費で購入する備品とは

(志村良男議員)

問 まちづくり交流推進費で備品購入費6000万円増額があるが、どのような機器を購入するのか。

まちづくり交流課長 道の駅に備える備品で、直売所に物を並べる売台、カフェや研修室のテーブル・椅子、宿泊室のベッドなどの購入費である。

超勤を減らすため庁舎内での取り組みは

(八島博正議員)

問 職員の超勤手当が5486万9千円増額されている。ノー残業デーも実施していて、職員の能力の差もあり難しい問題だが、総合的に職員同士でどうしたら残業を少なくできるかを再検討する必要があるのではないかと。庁舎内での取り組みについて伺う。

副町長 復旧復興の途上でもあり、町の魅力や活力を引き出すために道の駅整備に加え、産品開発なども行っており、職員の労働密度が高くなっている。この復旧復興に対応する取り組みもあと2、3年で終息してくると予想される中で職員を増やすこともできかねるため、どうしても超過勤務に頼らざるを得ない状況である。そのようなかで業務量に合わせて機構改革や職員のメンタルヘルス対策なども行ってお

り、超過勤務が多い状況を何とかしなくてはならないといういろいろな方策を探っている。縮減に向けて今後とも鋭意検討していきたい。

大雨で砂利が流れる度に補正を行うのか

(阿部泰藏議員)

問 林道整備事業の工事請負費で138万4千円の増額があるが、大雨などで砂利が流れた場合はその都度補正予算を組んで事業を行うのか。

産業振興課長 今回、林道小く分で増額をした。一旦グレーダーをかけて碎石を敷くと、相当強い大雨が来なければ数年は維持管理できると考えており、車両の通行に支障がないように必要最低限の整備である。また、予期せぬ大雨などの災害によるものは、基本的に補正予算での事業となる。

農地中間管理事業はどのような事業か

(松浦常雄議員)

問 農地中間管理事業とはどのような事業なのか。

産業振興課長 農地の出し手と受け手を仲介する農地中間管理機構の行う事業で、遊休農地などの措置に関する業務が新しく設けられたため、補正するものである。

町道修繕工事の増額はどのあたりの分か

(松浦常雄議員)

問 道路橋梁費の中に町道修繕工事の増額分があるが、具体的にどこなのか。

建設課長 どこというわけではなく、予算が底を尽きかけているため、緊急的に対応できるように予算を確保した。

小学校校庭整備の内容は

(村上一議員)

問 小学校校庭整備で1894万9千円の増額があるが、どのようなことをするのか。

教育次長 校庭の暗渠工事とクレー舗装を考えている。面積は4524平方メートルである。



校庭整備で水はけも改善し活動しやすくなります